

発行所

氷川神社社務所

日本唯一  
気象神社

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

氷川神社  
公式HP



気象神社  
公式HP



気象神社

高円寺氷川神社  
公式 Twitter



### 新年会のようす

1月26日(日) 高円寺氷川神社氏子青年会の新年会が開催されました。(於アンリファール)

氏子青年会には日頃から神社行事や境内清掃においてご奉仕を戴いており、大変お世話になっております。また氏子青年会独自の行事も年間通じて行われており活発に活動されております。

氏子青年会は昭和43年に結成され、氏子地域の青年同士の交流活発のきっかけとなってきました。近年は会員の年齢構成の高齢化が徐々に進んできておりますが、この2年で若い世代の会員も増えて、昨年若くは方を中心にも多くの新会員を迎えることができました。これから氏子青年会の活動が益々活性化していくことが期待されます。

今年の新年会は、神社近所の劇場「座・高円寺」の2階にある「アンリ・ファール」で開催しました。新年会には氏子総代や、日頃からお世話になっている関係者が来賓としてお越し戴き、清興も盛り込み、そして、参加者の紹介、会歌唱和と盛りだくさんの内容となり、皆で盛り上がりました。

今年も神社の行事には、氏子青年会の協力が必要となつてきますので、今後とも共に協力して頑張っていきたいと思えます。氏子青年会の安寧と繁栄を心より祈念申し上げます。



# ひな祭り餅つき大会

# 気象神社 (各種祈願祭)

氷川神社氏子青年会の年中行事として毎年3月第一日曜日に「ひな祭り餅つき大会」が開催されます。今年も年初から氏子青年会側とも協議を重ねてきて、開催することとしました。皆様のお越しを心からお待ちしております。

日時：令和7年3月2日(日)  
11時～13時  
※食材なくなり次第終了  
場所：氷川神社境内



昨年も多くの子供たちが参加しました



## 僕が見たかった青空

1月10日(金)「僕が見たかった青空」の早崎すずきさん、宮腰友里亜さん、山口結杏さんの3名がご参拝されました。

「僕が見たかった青空」は「AKB48」などをプロデュースした秋本康さんが「乃木坂46」のライバルとして、一昨年6月15日にプロデュースした女性アイドルグループです。

当日は20歳の成人祝い、晴天祈願祭を執り行いました。気象神社は皆様の活躍を心より祈念申し上げます。



## (株)マーブル&コー

1月23日(木) (株)マーブル&コー様が晴天祈願の為に御来臨されました。

(株)マーブル&コーが目指す「愛犬家も犬も犬が苦手な人もお互いに分かり合える幸せな社会づくり」の一環として開催するドッグイベント当日が晴れて、またご参加のみなさまの心も晴れやかに開催できることを祈願させて戴きました。



## 一般財団法人 北海道道路管理技術センター

1月14日(金) 一般財団法人北海道道路管理技術センターがご来臨されました。気象災害が少しでも緩和されることを祈願させて戴きました。



## (株)日刊スポーツ新聞社

1月17日(金) (株)日刊スポーツ新聞社様が晴天祈願・祭事成功祈願の為に御来臨されました。

2004年から毎年1月にお越し戴いており、晴天祈願・祭事成功祈願の祭事を齎行させて頂いておられます。同社が主催するすべての催事の日が晴れて無事に開催できるように祈願させて頂きました。

## 富士スピードウェイ(株)

1月14日(火) 富士スピードウェイ(株)様が晴天祈願の為に御来臨されました。

2012年から毎年この時期にお越し戴いており、晴天祈願の神事を齎行させて頂いておられます。今年もイベントがある時は晴天に恵まれ、各イベントが安全に開催され、そして何よりも関係者すべての方々が事故なく安全に過ごせるように祈念します。



★かつてのこうえんじん★  
第十二話

田中角栄はその土地や人間関係を知る術のひとつに、市町村など行政区の区割りのみで見るとはならず、川の流れや山の連なりなど、地形の流れで把握できることがあると言っていたそうだ。そのような視点で見ることこそ、土地や風土と共に生きる、濃厚な人と人の結びつきを捉えることができるのだという。新潟の、険しい山々に囲まれた豪雪地帯で産まれ育ち、そこに生きる人々を知っている、角栄らしい言葉だと思う。これを高円寺に引用すれば、阿波踊りの連などがつくる人間関係を知らないで、この土地を知ることができない、と言えるのではないか。昭和34年に始まった阿波踊りは、それくらい深く強く、この地に根付いているように思える。

田中角栄はその土地や人間関係を知る術のひとつに、市町村など行政区の区割りのみで見るとはならず、川の流れや山の連なりなど、地形の流れで把握できることがあると言っていたそうだ。そのような視点で見ることこそ、土地や風土と共に生きる、濃厚な人と人の結びつきを捉えることができるのだという。新潟の、険しい山々に囲まれた豪雪地帯で産まれ育ち、そこに生きる人々を知っている、角栄らしい言葉だと思う。これを高円寺に引用すれば、阿波踊りの連などがつくる人間関係を知らないで、この土地を知ることができない、と言えるのではないか。昭和34年に始まった阿波踊りは、それくらい深く強く、この地に根付いているように思える。

ささかドラ声ながらも絶品である。小沢淳男 元海軍士官らしいスマートさを身につけた夢多い万年青年型人物である・・とある。『夢』と題する寄稿には「終戦の年は復員して帰ってきた。(略)宝橋を含め一面のがれきの山、自分と中央線の間には空白しかなかった」と嘆き、今に至るも戦前の賑わいには及ばない高円寺を、かつての姿に戻す夢を実現すべく歩んでいく想いがつづられている。

私の前に「みんなのひろば」と表紙に書かれた小冊子がある。発行は高南商盛会、現在のPAL商店会の広報紙である。巻頭の「創刊に際して」を読むだけで意気込みが伝わってくる。編集方針は「社会良識に則った啓蒙的態度、事業に関する詳細な伝達とムード醸成、自由な発言の場、会員相互の理解と親睦。それを貫く基本態度は公正さと、町を愛する心を建設的方面に結集」とある。昭和38年8月10日に発行されたこの創刊号は、新しい理事会が発足し、その理事長に河原広さんが選出されたことを報じている。「理事の平均年齢は37才、若い力の結集は、内外の注目を浴び」ともある。この人事の中心になったのは、ここから遡ること6年前の昭和32年に結成された「まだか会」の人々だ。当初「ぼんぼん倶楽部」と名付けられたこの会は、当時深刻な内部対立を起こしていた、高南商盛会をなんとかしようとして、それまであまり付き合ひのなかった二代目が集まり

結成された。この初回の会合で「ばか踊り」と名付けた催しを行うことを決め、それが今に至る高円寺阿波踊りの源流になったのは有名な話だ。この昭和38年から高円寺阿波踊りと名も改まり、6年に及ぶまだか会の活動が、一定の成果を上げたと言われ、総入れ替えにも等しい理事の交代につながったと読むこともできる。今だ解決に至らない区画整理事業、中央線の高架化による駅南口の移動、頻発する桃園川の氾濫などなど、商店街が抱え、早急に解決すべき問題は、多岐にわたっていた。

7頁の小冊子だが、これを編集し、一冊にまとめ、さらに自らの商売もやっつけていく気力と体力。さらに毎月出していくという商店会に対する責任感には恐れ入るしかない。写真版なども取り入れた印刷代も、時代を考えると相当な金額になったと思われる。

私の前に「みんなのひろば」と表紙に書かれた小冊子がある。発行は高南商盛会、現在のPAL商店会の広報紙である。巻頭の「創刊に際して」を読むだけで意気込みが伝わってくる。編集方針は「社会良識に則った啓蒙的態度、事業に関する詳細な伝達とムード醸成、自由な発言の場、会員相互の理解と親睦。それを貫く基本態度は公正さと、町を愛する心を建設的方面に結集」とある。昭和38年8月10日に発行されたこの創刊号は、新しい理事会が発足し、その理事長に河原広さんが選出されたことを報じている。「理事の平均年齢は37才、若い力の結集は、内外の注目を浴び」ともある。この人事の中心になったのは、ここから遡ること6年前の昭和32年に結成された「まだか会」の人々だ。当初「ぼんぼん倶楽部」と名付けられたこの会は、当時深刻な内部対立を起こしていた、高南商盛会をなんとかしようとして、それまであまり付き合ひのなかった二代目が集まり

結成された。この初回の会合で「ばか踊り」と名付けた催しを行うことを決め、それが今に至る高円寺阿波踊りの源流になったのは有名な話だ。この昭和38年から高円寺阿波踊りと名も改まり、6年に及ぶまだか会の活動が、一定の成果を上げたと言われ、総入れ替えにも等しい理事の交代につながったと読むこともできる。今だ解決に至らない区画整理事業、中央線の高架化による駅南口の移動、頻発する桃園川の氾濫などなど、商店街が抱え、早急に解決すべき問題は、多岐にわたっていた。

アーケードを擁するPAL商店会は今でも高円寺の顔だが、この当時の高南商盛会の力というのは、今では考えが及ばないほど大きなものだったろう。翌年にアジア初の東京オリンピック開催を控え、街は建設ラッシュに湧き、商店街は物が売れ人に溢れていた、まさに『三丁目の夕陽』の時代。

この想いの背景には、戦争の記憶、生き残った者の使命、というのがあったのではないか。新役員紹介にも「城石昇 元戦軍隊の陸軍中尉で酔う程に飛び出す軍歌はい

予見するような内容である。五里霧中だったばか踊りが、回を重ねて形になり、若い仲間と商店会を盛り上げようと役員にもなった。しかし未だ見えない未来を、希望を込めてこのように描いた、当時の青年の胸中を思うと、心が揺さぶられる。

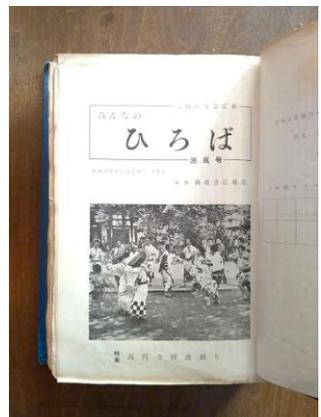
当時を知る人によれば「あのころは店員がいたし、余裕があったから、店主は外に出れたんだよな」今に至る高円寺阿波踊りの趨勢は、様々な人々の情熱はもちろん、あの時代の余裕があったからこそ、軌道に乗せることができたのではないだろうか。街は人が創っていくことでしか形にならないということを改めてこの冊子から学ばせてもらえた。今後も『みんなのひろば』を読み進め、この場で紹介して行きたいと思っています。



高円寺の顔の一つ、パル商店街



高円寺の真夏の祭典、阿波おどり



狩野俊



1月19日(日)には第63回試験前の「超直前対策」を気象神社の教室で開催しました。会場受験生、オンライン受験生が9時〜18時まで最後の追い込みに全力を尽くしました。



### 第63回気象予報士試験 合格祈願(夢☆カフェ)



1月25日(土)「夢☆カフェ」代表の中島俊夫さんが第63回気象予報士試験での夢☆カフェ受験生、全国の受験生の皆様の合格祈願に御来臨されました。

### 令和7年2月の御朱印

### 今月の花手水



#### 【氷川神社】

- ・鮮やかな色の三つ巴
- ・かわいいしまえなが

#### 【気象神社】

- ・かわいいしまえなが
- ・雪の結晶
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載していますので、ご覧ください。



### 今月の御朱印

◆「ガレッジセール」のオリタラドコ旅に

気象神社が登場予定

2月22日(土)千葉テレビ「ガレッジセールのオリタラドコ旅」(22時45分〜23時00分)に気象神社が登場予定です。お時間があれば、ご覧ください。  
※放送予定日や放送内容が変更になる可能性もあります



ガレッジセールのゴリさん(左)、川田さん(右)

### ◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。  
また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

### いのち 生命の言葉(令和七年二月)

岩から滴り落ちる一滴一滴の水と  
その先の小さな水の流れを見ること  
とで、その先に想いを馳せること

生命の言葉 令和七年二月  
今上陸下

岩かげにしたたり落つる  
山の水 大河となりて  
野を流れゆく

宮内庁 平成二十九年勅諭 詔野

### 今月の盆栽

氏子地域の盆栽屋ラビア デッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれています。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。



### 編集後記

ひかわ227号をお送りしました。今年の正月は国内外から多くの参拝者にお越しになりました。特に台湾人の参拝者が多く、平日は半分以上は台湾人参拝者です。まだまだ忙しい日々は当面続きそうです。

1月は気象予報士試験がある月です。気象神社で勉強された受験生が一人でも多く合格されることを祈念します。早いもので、節分、初午祭と続き、3月のひな祭り餅つき大会もあっという間にやっつきそうです。